

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証)

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	令和2年度 決算額 (円)	交付金 充当額 (円)	実施状況	効果検証
1	単	公共施設等安全・安心確保事業	管財課ほか	①公共空間での感染機会を削減する ②③ イ 市役所のカウンターに透明アクリル板の衝立を設置 @35千円×100台 ロ 公共施設の消毒業務委託 2,200千円×1回 ハ 感染症対策としてマスクを購入し、市行政関連施設に配布。大人@54円×30万枚、子ども@55円×10万枚 ニ 文化会館にサーモグラフィカメラを設置 627千円×4館 ホ 体育施設にAI体温検知システム導入 440千円×8台 ヘ 文化施設に体温計等を配備。体温計11台、フェイスシールド120個、使い切り手袋300枚×6箱 ト 公民館(28館)や社教バス(2台)に手指消毒剤や体温計等を配備 チ 図書館再開に伴う感染症対策として、カウンターや閲覧席に飛沫感染防止のための透明仕切板、換気用扇風機、図書消毒器、非接触型検知器等を設置 リ 移動図書館車(1台)に車載用扇風機を設置 ヌ 非接触型体温計を市内体育施設に配備 @9,020円×30個 ル 高齢者施設に非接触型体温計、サーキュレータ、消毒液等を配備 ヲ 議場に透明アクリル板を設置 13,860円×30枚、7,700円×1枚 ワ 本庁舎等の出入口に非接触型検知器71.5千円×14台、ペダル式消毒液スタンド18.5千円×14台を設置 カ 確定申告における郵便料300千円、パーテーション125千円や衛生用品等261千円 ④市内公共施設	R2.5	R3.3	46,876,716	46,876,716	・庁舎内カウンター等に飛沫感染防止衝立を設置(100セット)、アルコール消毒液等購入 ・新型コロナウイルス感染者が本庁舎に来庁したことにより、庁舎内の消毒作業を緊急に実施 ・マスク400,020枚購入 学校、高齢者等福祉施設、医療機関のほか、消防団等地域ボランティアに配布 ・サーモグラフィカメラ及び関連機器一式、保健衛生用品等を文化施設や体育施設に配備 など	職員及び来庁者の安心安全と感染予防対策に繋がった。また、マスクが品薄状態のなか配布することができ、感染予防対策に繋がった。
2	単	ひとり親家庭臨時特別給付費	こども子育て課	①ひとり親家庭の生活支援 ②ひとり親家庭の児童扶養手当受給者に対して、一世帯あたり4万円を支給 ③600世帯×40千円 ④ー	R2.5	R2.6	22,206,400	16,106,400	ひとり親家庭で令和2年4月分の児童扶養手当を白山市から受給している方へ通知の発送・市ホームページで給付金の案内を行い、一世帯40,000円を支給。 消耗品等116,400円 委託料 330,000円 扶助費 21,760,000円	厳しい生活を余儀なくされるひとり親世帯への生活の安定が図られた。
3	単	中小企業等等応援給付事業	商工課	①令和2年3月～12月のいずれかの月の売上が対前年同月比で20%以上50%未満の減少がある事業者への支援 ②③中小企業200千円×140店舗、個人事業者100千円×210店舗、その他事務費 ④中小企業、個人事業者	R2.5	R3.1	51,360,329	51,360,329	R2.5～ 受付開始 申請件数 法人:186件、個人事業主:131件 給付額 法人:200千円、個人:100千円	国の持続化給付金の対象とされないが、売上が減少した事業者を支援することで、事業者の事業継続につながった。
4	単	飲食販売等支援助成事業	商工課	①新たな販売手法として、テイクアウトやデリバリー事業や新しい生活様式に対応した感染症対策を実施する市内の飲食業等構成団体の支援 ②販売所の設営やPR等に係る経費を補助 ③500千円×8団体 ④飲食業等構成団体、商工会議所、商工会など	R2.5	R3.1	2,649,000	2,649,000	R2.5～ 受付開始 申請件数 7件 補助額:対象経費の1/2、上限50万円	コロナの影響により3密を避けるため飲食事業者等が新たに共同で行ったテイクアウト事業等への経費の一部を支援することにより、事業者の売上への貢献につながった。
5	単	石川県休業要請協力金負担金	商工課	①県の要請に応じて休業や営業時間短縮に協力した事業者等への支援 ②石川県休業要請協力金の市負担金に充当 ③(中小企業500千円×400店+個人事業者200千円×500店)×1/3 ④中小企業、個人事業者	R2.5	R2.6	38,366,666	38,366,666	R2.4.21～5.6の間、休業等の要請に協力した事業者へ石川県が支給した協力金の負担金(1/3) 県全体7,264件のうち白山市427件 県支給額(白山市分):115,100千円	休業要請・時短営業に協力した事業者の事業継続への支援となった。

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	令和2年度 決算額 (円)	交付金 充当額 (円)	実施状況	効果検証
6	単	信用保証料・利子補給助成事業	商工課	①新型コロナウイルス感染症等に起因する事業の業績悪化により、資金繰りのために融資を受けた市内に事業所を有する中小企業等へ支援 ②③ イ 白山市にてセーフティネット認定を受け、信用保証料を一括納付した者に対し、信用保証料全額を補助(500千円×110事業所) ロ 日本政策金融公庫の新型コロナウイルス感染症対策関連の融資制度を利用した者に対し、支払った償還利子の当初1年分を補助(408千円×25事業所) ④中小企業、個人事業者	R2.5	R3.3	2,007,685	2,007,685	R2.4～ 受付開始 信用保証料申請件数 9件 2,007,685円 利子補給申請件数 0件	主に、信用保証料が0となる県の融資制度ができるまでの間の、市内中小企業・個人事業主に対する資金繰りに貢献した。
7	単	学校再開に向けた感染症対策事業	学校教育課	①玄関先での発熱者の確認やスクールバス内での感染防止措置を講じることで、学校での感染拡大を防止する ②サーモグラフィカメラの設置や車載型次亜塩素酸水噴霧器をスクールバスに設置 ③カメラ1,100千円×27校、噴霧器61.8千円×16台 ④ー	R2.5	R3.3	23,546,820	23,546,820	玄関先で発熱者を確認するため、サーモグラフィカメラを小中学校に設置	感染症対策を行いながら学校運営を行うことができた。
8	単	公共施設等安全・安心確保事業	管財課	①公共空間での感染機会を削減する ②公共施設の消毒業務委託 ③庁舎の消毒作業(2日) ※労務費1,513、薬剤費36、消耗品239、諸経費404 ④本庁	R2.4	R2.4	2,192,905	2,192,905	新型コロナウイルス感染者が本庁舎に来庁したことにより、庁舎内の消毒作業を緊急に実施した。	職員及び来庁者の安心安全に繋がった。
9	補	子ども・子育て支援交付金	こども子育て課	①小学校の臨時休業措置による放課後児童クラブ延長実施に伴う支援(4/8～5/31) ②開所時間延長に自摸なう運営費補助及び衛生用品の購入補助 ③特別開所支援及び人材確保支援(404千円×38クラブ)、障害児受入れ支援(60千円×1クラブ)、利用料減免支援(221千円×38クラブ) ④市内38クラブ	R2.4	R2.5	11,382,539	2,840,810	小学校の臨時休業措置の延長(令和2年5月7日から31日までの18日間)により、放課後児童クラブを午前中から開所するための運営費(光熱水費、人件費等)、及び放課後児童クラブ利用自粛による保育料減額補てんに要した費用を補助。 委託料 10,507千円 補助金 875千円	①支援事業を行うことで、事業実施事業者の安定的な運営支援を資することができた。 ②小学校の休業措置等による保護者の経済的負担の軽減に繋がった。
10	補	学校保健特別対策事業費	学校教育課	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) (学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) (感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①学校内での感染拡大防止 ②消毒用アルコール、非接触型体温計を各クラスに配備 ③イ 340円×9,555人 ロ 4,000千円×7校、3,000千円×8校、2,000千円×13校 ハ 1,600千円×7校、1,200千円×8校、800千円×13校 ④市内小中学校	R2.5	R4.3	112,448,000	56,224,000	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業)非接触型体温計を全小中学校各クラスに配備 (学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業)ハンドソープ等の感染症対策物品やプロジェクターなどの学習保障に係る物品を全小中学校で購入 (感染症対策等の学校教育活動継続支援事業)全小中学校で手指消毒液等の必要な物品を購入	全小中学校に非接触型のものを配備することができ、感染症対策を行いながら学校運営を行うことができた。
11	単	学校施設安全対策事業	学校教育課	①学校内での感染拡大防止 ②消毒用アルコールを各クラスに配備 ③アルコール518円×800L購入費 ④市内小中学校	R2.5	R3.3	2,913,200	2,913,200	消毒用アルコール等感染症対策消耗品を全小学校各クラスに配備	感染症対策を行いながら学校運営を行うことができた。
12	単	医療従事者支援事業	いきいき健康課	①公立病院で感染症治療などに従事する職員に対する支援 ②特殊勤務手当 ③身体に直接接​​触又は長時間接して行う業務4千円(接触機会が少ない業務は3千円) ※中央病院 4千円×8,350人×78% ※鶴来 4千円×718人、3千円×32人 ④新型コロナウイルス感染者の診療に当たる医師、看護師、検査技師等	R2.4	R3.3	29,020,000	29,020,000	公立松任石川中央病院及び公立つぎ病院において、新型コロナウイルス感染症の業務に従事されている皆様の労苦に少しでも報いることができた。また、地域の拠点病院である二つの医療機関がコロナ禍の中でも安定的な医療提供体制を確保することができた。	県民市民の命を支える医療を守るため、医療現場でコロナウィルス感染症の業務に従事されている皆様の労苦に少しでも報いることができた。また、地域の拠点病院である二つの医療機関がコロナ禍の中でも安定的な医療提供体制を確保することができた。

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	令和2年度 決算額 (円)	交付金 充当額 (円)	実施状況	効果検証
13	単	水道料金助成事業	企業総務課 水道課	①経済的な影響を受けている個人や事業者への支援 ②水道基本料金減免に係る費用を水道事業会計に補助 ③松任・美川・鶴来地域(819円)、白山ろく地域(428円)、事業所等の基本料金を4ヶ月間免除。 ※819円×40,915世帯×4ヶ月、428円×2,481世帯×4ヶ月、3,333円×1世帯×4ヶ月、9,523円×110世帯×4ヶ月、4,285円×5世帯×4ヶ月 ④世帯数:43,512世帯	R2.6	R2.9	140,940,736	140,940,736	・水道基本料金を4カ月間減免(R2.6～9月使用分)官公庁除く のべ153,850件 126,367,460円 ・民営簡易水道利用者(官公庁除く)に対し、水道基本料金4カ月相当額を補助 104組合、14,573,276円	・水道基本料金を減免することにより経済支援につながった。 ・民営簡易水道利用者に対し、水道水道基本料金減免額相当を補助することで市民に公平な経済支援につながった。
14	単	いいとこ白山宿泊応援事業	観光課	①市内の宿泊業を応援する ②国、県が実施する観光需要の喚起事業に合わせて、その効果を市内宿泊施設へ最大限に波及させるため、県民及び市民の市内の宿泊に対して補助を実施 ③6千円以上1万円未満で県の補助対象外のもの…県民2千円(市民の場合は4千円)、1万円以上で県の補助対象となるもの…市民2千円(県の補助額に加算) ④石川県民(GoToTravel開始後は市民のみ)	R2.6	R3.3	15,135,352	15,135,352	国と県が実施する観光需要の喚起事業に合わせて、宿泊者に定額2,000円のキャッシュバックを行った。(地域により、2,000円の加算あり) 延べ 5,336人 13,396千円	【担当課評価】 全市的に宿泊施設が利用された。 市民の利用促進が図られ、地元の魅力の再認識へとつながった。 【利用者からの評価】 豊かな自然とその恵み(温泉・酒・食事)を十分に味わえた。 新たな余暇の過ごし方を得た。 【事業者からの評価】 新しい顧客獲得と利用促進につながった。
15	単	防災活動支援事業	危機管理課	①公共空間での感染機会を削減する ②避難所における感染症対策として、衛生用品(マスク、体温計、フェイスシールド)や間仕切テントなどを配備 ③④ 避難者数700人、二次避難所91施設、福祉避難所43施設	R2.6	R3.3	43,288,605	43,288,605	非接触式電子温度計300個 パーテーション70セット、段ボールパーテーション700組、テント155張、マスク20万枚 自動ラップ式トイレ25セット、感染症防護対策キット300セット、段ボールベット662台、自動温度測定器6台を購入	各種備蓄品を整備することにより、避難所設営時の感染予防対策の準備を整えることができた。
16	単	無観客配信支援事業	文化振興課	①外出自粛等に対応するための取組を支援 ②③ イ 東二口文弥人形浄瑠璃の活動を支援するため、英語版紙芝居動画等を海外へ配信する (動画作成670千円、絵本作成547千円、読み手謝礼96千円) ロ 文化芸術の維持・発展のため各種団体の活動状況を撮影し配信する(映像データ作成費及び放送料 400千円×5公演) ④市内文化団体	R2.6	R3.3	3,313,000	3,313,000	(イ)東二口文弥人形浄瑠璃の2演目について各12分程度の英語版紙芝居動画を作成し、ホームページ等で公開した。 ・同2演目について紙芝居版小冊子を300印刷製本し、県内の国際交流団体や教育機関及び海外の親善友好都市等に配布した (ロ)第49回市民音楽祭、大正琴の集い、第45回市民芸能祭松任会場、鶴来市民芸能音楽祭、第24回ユースコンサートが無観客開催支援した。	(イ)コロナ禍で公演活動等が制限されている本市の重要無形民俗文化財を市内外に発信できた ・演舞の様子を動画に残すことで後世への記録となった ・このプロジェクトがきっかけとなって、外国人人形浄瑠璃一座との交流が生まれ、翌年以降の共同公演会等につながった。 (ロ)コロナ禍における感染拡大防止のため、文化芸術活動の発表の機会が失われたことから、無観客での発表の機会を設け、その様子を撮影しWEB等により配信することで多くの方に鑑賞する機会を設けることにより、文化芸術の振興に寄与した。 また、映像記録として保存することで、次世代への文化継承も果たす一助となった。
17	単	障害者就労支援事業所等臨時支援事業	障害福祉課	①② 就労の機会が減少している障害者就労支援事業所に布マスクの作成を依頼することで、就労機会を確保する(作成委託費) ③400円×9,000枚 ④市内障害者就労支援事業所	R2.6	R3.3	3,600,000	3,600,000	障害者就労支援事業所(11事業所)に対し、布マスクの製作を依頼し、できたマスクを買取り、市内障害福祉サービス事業所(67事業所)利用者・事業所職員1,800人に、1人あたり5枚配布した。	障害者就労支援事業所の利用者の就労機会確保と事業所の収益につながった。

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	令和2年度 決算額 (円)	交付金 充当額 (円)	実施状況	効果検証
18	単	多子世帯生活支援事業	こども子育て課	①② 新型コロナウイルス感染症に関連し、経済的に困っている多子世帯に対して、JAからの米の寄附を活用し、米の配布を実施 ③2千円×1,402袋、事務費 ④配布対象 イ 18歳以下の子、3人の世帯 5kg (1,476世帯) ロ 18歳以下の子、4人以上の世帯 10kg (263世帯)	R2.6	R2.9	2,898,000	2,898,000	多子世帯に対し、お米の配布を行った。(JAからのお米の寄附だけでは不足する分)	学校が休校になり、お米の消費が増えたため、多子世帯の生活の安定が図られた。
19	単	感染症対策用防護具購入事業	いきいき健康課	①② 飛沫感染リスクが高い検査に従事する医師や看護師に対する感染症予防策として、ガウン及びフェイスシールドを配布 ③ガウン(医師) @250円×2,000枚 ガウン(看護師) @150円×2,000枚 フェイスシールド @385円×1,000枚 ④白山ののいち医師会	R2.6	R2.12	1,183,600	1,183,600	飛沫感染リスクが高い胃内視鏡検査に従事する医師や看護師に対する感染症予防策として、ガウン及びフェイスシールドを配布した。	感染予防策により、医師等が感染することなく安全安心に検査に従事でき、市民のがん検診が支障なく実施できた。
20	単	国民健康保険臨時特別支援金	保険年金課	①② 新型コロナウイルス感染症の影響による情勢を考慮し、令和2年度の国民健康保険税の税率改正による負担増に対する負担軽減を図るため支援金を給付 ③2千円×21,000人、事務費 ④国民健康保険加入世帯	R2.6	R3.3	41,440,698	40,900,648	臨時特別支援金(支給済数19,874人、12,675世帯)	コロナ禍における国民健康保険加入世帯の負担を軽減した。
21	単	健康支援事業	いきいき健康課	①市民の健康維持及び向上を目的として、タニタ健康倶楽部と連携しウォーキング事業を拡大強化し市民の健康を支援する ②③セミナーの開催528千円、携帯アプリへの切替推進926千円 ④市民	R2.6	R3.3	982,800	782,800	外出自粛活動自粛に伴う運動不足等の解消のため、タニタ健康倶楽部の年会費の減額、健康ポイントを増やし、スマートフォンアプリの仕様を整えた。	前年同時期より会員数が約100名増え、倶楽部会員限定講座の開催やウォーキング等による健康ポイント付与等により市民の健康支援の一端を担うことができた。
22	単	就労支援給付金事業	商工課	①企業等の人員削減による解雇や雇い止め、内定取り消し等により、就労機会を失った者が新たな就業に向けたスキルアップのために職業訓練を行う受講者への支援 ②就労支援給付金50千円/人 ③50千円×130人 ④職業訓練受講者	R2.4	R3.3	5,500,000	5,500,000	R2.6～ 受付開始 申請件数 110件 給付額 5万円	コロナの影響により雇用機会を失った方を含め、職業訓練の受講促進、雇用機会の拡大につながった。
23	単	地元産材活用支援事業	地産地消課	①② 臨時休業により影響を受けた地元農家が、今後も学校給食への取り組みを継続するため、市内全小・中学校に旬の地元食材を配送する費用を支援 ③配送料144千円×1.1×7回 ④JA・生産者	R2.9	R2.12	1,005,400	1,005,400	休校による学校給食食材納入地元生産者の支援延べ133小中学校への配送支援により、9～12月に地元生産者の小松菜など1,244kgを使用した。 産地集荷@26,000円×13箇所×1.1＝371,800円 学校配送@12,000円×48ルート×1.1＝633,600円	学校給食使用食材主要14品目では、4～7月は前年比856kg減であったが、8～12月は1,653kg増となった。R2年度の地元食材使用率も24.32%と前年(19.29%)より増加した。
24	単	地域の魅力磨き上げ支援事業	観光課	①誘客拡大に向けて、地域経済を立て直そうと取り組む温泉旅館事業者や地域の団体へ緊急対策として支援する ②③④ イ ・温泉旅館での新たな体験プログラム開発等を支援 ・3,000千円(県4.5/10、市4.5/10、事業者1/10)×5軒 ・温泉地に湧出する温泉に入浴可能な宿泊施設を有する旅館業を営む事業者 ロ ・地域の資源を活用し、地域の魅力を発信する団体を支援 ・1,200千円(市2/3、事業者1/3) ・白峰観光協会	R2.6	R3.3	6,198,000	3,499,000	新型コロナウイルス感染症拡大収束を見据えた誘客拡大に向けて、緊急対策として地域経済を立て直そうと新たな体験プログラムの開発や観光資源の磨き上げ(ブランド化)に取り組む事業者・団体への補助。 5件 3,499千円	【担当課評価】 地域の資源を活用し、新たに地域の魅力を発信できた。
25	単	温泉施設支援事業	施設管理課	①新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けるホテルや民宿等を支援 ②③ 6ヶ月分の温泉使用料を支援 ※千丈温泉(4軒:369千円)、一里野温泉(6軒:1,257千円)、白峰温泉(7軒:284千円) ④配湯を受けているホテルや民宿等	R2.6	R3.3	1,821,999	1,821,999	千丈温泉、一里野温泉、白峰温泉の温泉を配湯している民間のホテルや民宿(計17軒)の温泉使用料6ヶ月分を支援	コロナの影響によりお客様が減った民宿旅館の費用負担軽減になった。 【担当課評価】

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	令和2年度 決算額 (円)	交付金 充当額 (円)	実施状況	効果検証
26	単	文化・スポーツイベント応援事業	文化振興課 スポーツ課	①新たな生活様式の下で、地元トップスポーツチームの活動や文化振興に資する公演の再開支援を行うとともに、地域活性化・交流イベントの開催支援及び市民の文化に触れあう機会を確保する ※現在、ソーシャルディスタンスを確保するため、施設の利用人数を50%以下に制限しており、収益率が低くなる市内施設でのイベントが全くない状況である。各種団体に市内でのイベントを実施してもらうため、チケットの販売数に応じた支援金を交付することで市内での開催を呼びかける ②地域活性化・交流イベントの開催支援金 ③1,000千円以内×8団体 ④地元トップスポーツチーム及び芸術文化団体	R2.6	R3.3	5,606,000	5,606,000	トップスポーツチーム(ヴインセドール白山、金沢サムライズ)が試合等を開催する際に、感染予防対策を図った経費に対して支援を行った。また、文化芸術公演については8件の申請があった。	感染予防に係る経費を支援することで、効果的な感染症対策を図り公演・試合等を開催することができた。
27	単	必需物品供給事業	危機管理課	①② 「新しい生活様式」のもと、マスクを着用する時間が長くなることによる熱中症のリスクを低減するため、保育所の園児、小中学校の児童生徒や教諭、75歳以上の高齢者等に夏用マスクを配布する ③550円×2枚×31,345人、事務費 ④園児、小中学校の児童生徒や教諭、75歳以上の高齢者	R2.6	R2.9	37,011,500	37,011,500	冷感マスク62,690枚購入 75才以上高齢者や学校、介護等福祉施設に配布	夏場でのマスク着用による生活・仕事での感染予防や熱中症対策に繋がった。
28	補	教育支援体制整備事業費	学校指導課	(補習等のための指導員等派遣事業(スクール・サポート・スタッフの配置)) ①② 授業再開にあたりスクールサポートスタッフを雇用し、感染症対策の強化を図ることで純増する教師の業務をサポートする ③全小中学校に配置(28校) ※960円×1100h×28人 ④市内小中学校	R2.6	R3.3	15,884,490	5,295,490	消毒作業等新型コロナウイルス感染症に対応するスクールサポートスタッフを市立小中学校全27施設に配置し、教員業務の補助を実施。	消毒作業等の感染症対策で増大した教員の負担を軽減することにより安全な学校運営を行うことができた。
29	単	スクールサポートスタッフ配置事業	学校指導課	①② 授業再開にあたりスクールサポートスタッフを雇用し、感染症対策の強化を図ることで純増する教師の業務をサポートする ③全小中学校に配置(27校) ※通勤手当7,100円×27人≒192千円、雇用保険22,356千円×0.9%≒202千円 ④市内小中学校	R2.6	R3.3	544,030	544,030	消毒作業等新型コロナウイルス感染症に対応するスクールサポートスタッフを市立小中学校全27施設に配置し、教員業務の補助を実施。	消毒作業等の感染症対策で増大した教員の負担を軽減することにより安全な学校運営を行うことができた。
30	単	児童生徒への学習等支援事業	学校教育課	①学習機会の確保 ②③ イ 小中学校の臨時休業に伴う家庭学習用教材の郵送等に係る経費 郵便料5,156、封筒686、印刷費等101 ロ 夏季の授業日における白山ろく地区の通学用バス運行経費 7/21～8/27のうち17日間のバス運行経費568 ④市内小中学生	R2.4	R2.8	6,015,016	6,015,016	・小中学校の臨時休校措置に伴う、授業時間確保における通学用バスの臨時便の運行。 (コミュニティバス臨時運行日7/21～8/28の17日間) ・全小中学校の臨時休業に伴い、家庭学習用教材を児童に郵送。	授業の遅れを抑え、児童生徒の学習機会を支援することができた。
31	単	公共施設等の管理維持体制持続化事業	生涯学習課	①② 指定管理者制度や民間委託を導入している公共施設等について、再開後の円滑な管理を行う観点から、感染症拡大防止を目的に快適に夜間換気できるよう網戸を設置する ③④ 公民館296箇所3,760千円、松任青少年宿泊研修センター8箇所159千円、シーサイト松任32箇所423千円	R2.6	R2.9	4,076,887	4,076,887	・公民館 網戸(17施設137か所)を設置。 ・青少年宿泊関連施設 網戸(2施設31か所)を設置。	窓開けによる換気ができ、効果的な感染防止対策ができた。

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	令和2年度 決算額 (円)	交付金 充当額 (円)	実施状況	効果検証
32	単	公共施設等快適空間確保事業	管財課ほか	①3密対策を実施したより快適な空間の創造 ②③④ イ 公共施設における換気窓等の設置や施設利用者がソーシャルディスタンスを確保できるよう改修するなど、3密対策・感染症防止対策を実施 ・本庁(換気窓設置、会議室拡張など) 89,500千円 ロ 公共施設のトイレ手洗いの自動水栓化及びトイレ洋式化や換気対策の実施 ・支所・サービスセンター(自動水栓44箇所)、こがね荘(自動水栓6箇所、網戸7室)、保育所6施設(自動水栓48箇所)、松任幼稚園(自動水栓30箇所)、食彩館せせらぎ(トイレ洋式化1箇所)、尾口山菜加工施設(トイレ洋式化1箇所)、観光施設11施設(自動水栓123箇所)、呉竹文庫(自動水栓3箇所、トイレ洋式化1箇所)、鳥越一向一揆歴史館(自動水栓2箇所)、白峰小学校(自動水栓14箇所)、鳥越城跡(自動水栓5箇所、トイレ洋式化5箇所)、二曲城跡(自動水栓5箇所、トイレ洋式化5箇所)、恐竜パーク白峰(自動水栓16箇所)、公民館(自動水栓77箇所)、松任青少年宿泊研修センター(自動水栓17箇所)、シーサイト松任(自動水栓10箇所)、美術館(自動水栓2箇所)、体育施設(自動水栓194箇所、トイレ洋式化84箇所)、公民館(トイレ洋式化31箇所、トイレブース13箇所)、学習センター(トイレ洋式化7箇所)、図書館(トイレ洋式化4箇所)、市民公園(トイレ洋式化90箇所)など 164,497千円	R2.6	R4.3	228,836,316	228,836,316	・本庁舎排煙窓を常時換気ができる窓に工事を実施 94カ所 ・会議室4部屋が狭小の為、ソーシャルディスタンスの観点から間仕切りを撤去し、1部屋又は2部屋として利用出来るよう拡張工事を実施 ・各公共施設の和式トイレや手洗い水栓の洋式化・自動水栓化を実施	・常時換気が可能となったことから職員・来場者の安心安全と感染予防対策に繋がった。 ・和式トイレの洋式化による菌の飛沫拡散防止と、手洗いの自動水栓化(非接触化)による菌の付着リスク削減により、感染症拡大防止に効果があった。
33	単	電子決済導入事業	ICT活用推進室	①キャッシュレス決済の普及推進 ②③ タブレット端末で施設利用料等の支払いが可能となるシステムの導入費(端末5台340、諸経費123) ④本庁、出先機関	R2.7	R2.10	400,000	400,000	令和2年7月21日:見積通知 令和2年7月31日:契約締結 令和2年9月30日:検収 令和2年10月1日:サービス開始	令和3年度実績:約45,000件の手数料等支払いのうち約5%がキャッシュレスでの支払い。 従来は現金のみの取り扱いであったが、現金に加えクレジットカード・電子マネー・バーコード等での支払いに対応し市民の利便性の向上及び現金の手渡しによる感染リスクの減少に寄与した。
34	単	重度障害児(者)臨時特別給付金支給事業	障害福祉課	①② 在宅での療育支援や社会参加に必要な環境整備への負担軽減として、臨時特別給付金を支給 ③20千円×127人 ④特別障害者手当受給者、障害児福祉手当受給者	R2.7	R2.9	2,540,000	2,540,000	在宅の重度障害者への生活支援として、特別障害者手当又は障害児福祉手当受給者に一人当たり2万円を支給した。(対象者127名)	在宅の重度障害者への生活支援の一助となった。
35	単	安全安心健診事業	いきいき健康課	①② 乳幼児健康診査等において、会場の環境整備及び医師や看護師等を増員し、3密を回避するための取組みを実施する ③フェイスシールド等148、問診用紙27、ペーパータオル225円×655個×1.1、フロアマット6千円×32枚×1.1、おもちゃ用消毒液9,240円×3缶×1.1、机消毒液570円×24本×1.1、手指消毒液1,710円×36本×1.1、医師・看護師・歯科衛生士等謝金1,540、リモート相談費726 ④健康センター松任	R2.4	R3.3	2,933,940	2,929,000	乳幼児健康診査等において、感染予防策として消毒液配置等の環境整備や医師・看護師等を増員し、健診等の実施時間短縮を図った。	感染予防策により、受診者及びスタッフ等が感染することなく、乳幼児健診が実施でき、平時と同様に子の発育発達の確認や母の育児不安軽減を図ることができた。
36	単	新生児臨時特別給付金事業	いきいき健康課	①② 令和2年4月28日以降に誕生した新生児に対して、市独自で精神的、経済的に不安を抱える子育て世帯への支援を目的に10万円を支給する ③100千円×780人、事務費 ④令和2年4月28日から令和3年3月31日までの新生児	R2.7	R3.3	71,999,816	71,999,816	白山市新生児臨時特別給付金(令和2年度給付分) 支給対象者 令和2年4月28日～令和3年1月31日の間に生まれた新生児で最初の住民登録地が白山市の者 587件 58,700,000円 支給対象者 令和3年2月1日～令和3年3月31日の間に生まれた新生児で最初の住民登録地が白山市の者 128件 12,800,000円	新型コロナウイルス感染症感染防止対策について、高度な配慮を要する妊婦及びその家族の精神的負担の軽減並びに出産及び育児に要する費用の支援につながった。

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	令和2年度 決算額 (円)	交付金 充当額 (円)	実施状況	効果検証
37	単	白山市地域応援券事業	商工課	①② 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う自粛により落ち込んだ消費の回復を図るため 市民1人あたり2千円の地域応援券を配付する ③応援券2千円×114,000人、印刷郵送費23,450、その他事務費 ④白山市民	R2.7	R2.11	249,186,105	249,186,105	白山市全市民に対し、1人あたり2,000円分の商品券を配布した。 R2.7～取扱店募集 R2.8～地域応援券配布 R2.10末 使用期間終了 ・配布世帯数 44,752世帯 ・配布人数 113,535人 ・配布枚数 227,070枚 ・使用実績 221,733千円(97.6%) ・参加店舗数 601店舗	商品券を配付し、市民の家計の支援と地元事業者への支援を行うことで、地域の消費拡大を推進し、新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた地域経済の回復に効果があった。
38	単	GIGAスクール端末導入事業	学校教育課	①GIGAスクール構想の推進 ②小中学校に整備する端末に導入する教材等に充当 ③整備台数:4,253台(小学校)、2,180台(中学校)×37.4千円 ④市内小中学校27校	R2.7	R3.3	235,647,223	235,647,223	タブレット端末購入配布 小学校 4,252台 中学校 2,181台	感染症による臨時休業の場合や自宅待機となった児童に、オンライン学習を進めることができ、学びの環境が整ってきた。
39										
40	単	いいとこ白山宿泊施設魅力アップ事業	観光課	①収束後に備えた活動や新しいチャレンジを応援したい ②感染症対策を含めた訪日外国人旅行者の受入環境整備への取り組みに対する補助 ③全体事業費 12,536千円×8.5/30 ④宿泊事業者(6事業者)	R2.8	R3.3	3,013,000	3,013,000	観光需要の回復に向けた反転攻勢を見据え、感染症対策も含めた訪日外国人旅行者の受入環境整備への取り組みに対する補助。 6件 3,013千円	【担当課評価】 施設の環境整備により、施設の魅力アップを促進でき、旅行者の利用促進につながった。
41	単	社会システム維持のための衛生確保事業	危機管理課	①救急現場で働く職員の安全を確保する ②③ 救急資機材の消毒装置等 13,980×66.23%、 救急隊員が装着する感染防止衣 3,542×66.23% ④白山野々市広域事務組合	R2.6	R3.3	11,605,000	11,605,000	消毒用資機材一式(オゾンガス消毒装置8台・オゾン水生成機4台) 感染防止衣2,000着 検査用手袋42,750枚 N95マスク1,000枚 ペダル式消毒液スタンド10台 ほか感染防止用品の購入	救急隊員の現場活動での感染防止に繋がった。
42	単	WiFi端末導入事業	学校教育課	①GIGAスクール構想の推進 ②小中学校に整備するWiFi端末導入経費に充当(国庫補助金の上乗せ分) ③整備台数:510台(小学校)、260台(中学校)×7.38千円 ④市内小中学校	R2.9	R3.3	8,592,815	892,815	WiFi端末購入 小学校 500台 中学校 270台	感染症による臨時休業の場合や自宅待機となった生徒に、オンライン学習を進めることができるよう、学びの環境が整ってきた。
43	単	修学旅行中止に伴う支援事業	学校指導課	①② 令和2年度に実施予定であった中学校の修学旅行について、感染症の関係で中止となったため発生したキャンセル料を支援する ③市内9中学校が請求されたキャンセル料 ④市内中学校	R2.8	R2.11	4,566,000	4,566,000	新型コロナウイルス感染症の拡大により中止又は延期になったことにより増大した費用を負担。	新型コロナウイルス感染症の拡大により発生した保護者の負担軽減につながった。
44	単	学校の臨時休業に伴う文化芸術・運動機会創出事業	学校教育課	①② 感染症の影響で県体や地区大会が中止となったため、部活動再開後の3年生の活動目標となる新たな大会を開催する ③ イ 白山野々市総合体育交歓大会 1,916 13競技(陸上、水泳、バスケットボール、サッカー、軟式野球ほか) ロ 中学校文化連盟発表会 1,036 舞台発表、展示発表、交流発表ほか ④中学校体育連盟、中学校文化連盟	R2.7	R2.9	2,259,728	2,259,728	中学校部活動の各種大会の中止に伴い開催された代替大会参加経費を助成 ・白山野々市中学校総合体育交歓会 ・白山市中学校文化連盟発表会	感染対策をしながら代替大会を開催することにより、部活動再開後の生徒の活動目標を持たせ、3年生の部活動終了の区切りをつけることができた。
45	単	感染症予防事業	いきいき健康課	①② 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行による医療現場の混乱を防ぐため、特に重症化しやすい高齢者の予防接種費用の助成額を拡大し、接種率の向上を図る ③200円×20,900人 ④65歳以上の高齢者	R2.9	R3.3	9,940,000	4,180,000	新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行による医療現場の混乱を防ぐため、特に重症化しやすい高齢者の予防接種費用の助成額を拡大した。	インフルエンザの接種率が前年度より7.5%アップし、インフルエンザの流行を抑えたことにより、医療現場の混乱は防げた。

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	令和2年度 決算額 (円)	交付金 充当額 (円)	実施状況	効果検証
46	単	市民問合せ自動返答サービス事業	ICT活用推進室	①スマートフォン等からチャット形式で問い合わせをし、AIが自動で回答するシステム(AI-チャットボット)を導入することにより、来庁者数の減少や、滞在時間の短縮につなげ、感染リスクを軽減する ②③AI-チャットボット導入費 ④本庁	R2.12	R3.3	12,295,800	12,295,800	令和2年12月23日:入札公告 令和3年度回答率:約65% (制限条件付一般競争入札) 令和3年1月27日:契約締結 令和3年3月31日:検収 令和4年4月1日:サービス開始	令和3年度アクセス件数:25,997件 令和3年度回答率:約65% 令和3年検索上位キーワード:ワクチン接種・コロナウイルス感染症 サイトへのアクセスデータの分析結果から来庁舎数や滞在時間の減少に寄与した。
47	単	自治振興事業	総務課	①各町内会の活動を支援する ②非接触型体温計、手指消毒液 ③非接触型体温計6.6千円×388団体、手指消毒液2.2千円×388団体 ④全町内会	R2.12	R3.3	1,672,202	1,672,202	非接触型体温計388台 手指消毒液388本 ほか	町内会活動における感染リスクを図ることができた。
48	単	白山市議会議員選挙費	総務課	①投票所・開票所における感染症対策を万全にし、市民が安心して投票できるようにする。また、開票所における3蜜対策を図る。 ②透明ビニルシートシールド、手指消毒液、使い捨て鉛筆、記載台等 ③透明ビニルシートシールド12,100円×160枚、記載台43,450円×55台、自動交付機191,950円×25台、投票用紙計数機462,000円×4台、投票用紙読取分類機6,160,000円、開票所床シート115,500円×13本、使い捨て鉛筆4,950円×60セット、記載台照明998,800円、飛沫感染防止消耗品1,053,780円 ④投票所45箇所、期日前投票所9箇所及び開票所1箇所	R2.12	R3.3	20,944,860	20,944,860	【投票所、開票所】 飛沫フロッカー173枚 手指消毒液150本 ほか 【投票所】 アンケート鉛筆60,000本 自動交付機25台 記載台55台 ほか 【開票所】 投票用紙読取分類機1台 投票用紙計数機4台 ほか	投・開票所において、基本的な飛沫感染や接触感染を軽減することができた。
49	単	読書活動推進事業	松任図書館	①図書館などへ外出する機会が減少することが想定されることから、家庭での保育や学習を支援 ②図書カード、郵送費、図書(移動図書館車用含む) ③イ 未就学児6,800人×5千円、郵便料2,800千円 ロ 小中学生9,750人×5千円、郵便料77千円 ハ 図書22,000千円 ④未就学児、小中学生など	R2.11	R4.3	106,727,110	104,220,414	・H26.4.2以降に生まれた児童6,765人に対し、図書カード5,000円分を支援。 消耗品費 33,825,000円 その他事務費 2,075,110円 ・全小中学校児童生徒9,750人に図書カード5,000円分を支援。 ・図書館などへ外出する機会が減少することが想定されることから、家庭での保育や学習を支援するため図書館資料の充実を図った。	・家庭での保育時間が増える中で、多くの絵本等に触れる機会の創出や、外出自粛の徹底、また図書カードの利用による地域経済の活発化にも寄与した。 ・感染防止のため図書館などへ外出する機会の減少が想定されたが、図書カードを配布することにより、家庭学習を支援できた。 ・図書館などへ外出する機会が減少することが想定されることから、家庭での保育や学習を支援するため図書館資料の充実を図った。
50	単	成人式開催費	生涯学習課	①感染症対策を万全にし、安心して成人式に参加できるよう対策する。 ②手指消毒液等消耗品、飛沫感染防止用アクリルパネル、成人式入場券、会場消毒業務 ③手指消毒液1,716円×30個、消毒スプレー5,940円、フェイスシールド99円×160個、手袋・アルコール等18,827円、アクリルパネル76,340円、成人式入場券37,000円、会場消毒業務(学校4校)495,000円 ④7会場	R2.11	R3.1	700,427	700,427	消毒液、フェイスシールド等の配備や式終了後の会場消毒作業など、感染症対策を実施して予定通り成人式を挙行了した。	成人式出席者や運営に従事した職員の中でクラスターが発生した事例はなく、感染拡大を防ぐことができた。
51	補	疾病予防対策事業費等補助金	いきいき健康課	(新型コロナウイルス感染症の流行下における一定の高齢者等への検査助成事業) ①新型コロナウイルス感染症の感染拡大や重症化防止の観点から、行政検査等の対象外となる、無症状の65歳以上の高齢者に対して、本人の希望に基づいて、PCR検査を行うことで、不安解消や重症化抑制を図る ②PCR検査費用 ③PCR検査費用 20千円×400件 ④無症状の65歳以上の高齢者	R2.11	R3.3	20,000	5,000	新型コロナウイルス感染症の行政検査等の対象外となる、無症状の65歳以上の高齢者に対して、本人の希望に基づいて、PCR検査を行った。(1名)	不安を感じている方へ検査を行ったことにより、安心感が得られた。

1,655,296,715 1,554,416,300